

発足の経緯 (R3年9月議会後半 総務常任委員会)

Q:地域の安全、安心に欠くことのできない消防団について、報酬など金銭的な処遇改善だけでなく、**社会的理解を深めることや、活動しやすい環境を整えることが重要**であると考えますが、府はどのように取組んでいくのか。

A:消防団が活動しやすい環境を整えるために、**消防団員、市町村、消防団員を雇用している企業などが自由に意見を交換できる場**として、新たに「**消防団充実強化研究会**」を立ち上げたい。
当該研究会は、消防団を取り巻く各種課題に対し、消防団の声を聴き、課題解決に向け「**議論できる場**」を提供することとしている。加えて、先進事例を積極的に発表することで、団員がやりがいを感じて「**活躍できる場**」にしていきたいと考えている。

研究会とワーキンググループ

大阪府消防団充実強化研究会	
<事業内容> 府内消防団の充実強化を目的に、必要な取組を行う	座長 消防保安課長
<所掌事項> 消防団の充実強化に係る現状及び諸課題に関すること ・広報に関すること その他	メンバー 大阪府土地防災監3名 大阪府消防協会4名 市町村担当課長3名
大阪府消防団充実強化研究会ワーキンググループ(WG)	
<所掌事項> 消防団の充実強化に必要な情報の収集、整理、分析 ・必要な事項の検討及び研究会への報告 その他	WG長 消防指導グループ長 メンバー (別記)



4月～ 調査研究WG

研究テーマが「広報」となった背景

- ・消防団員が減少する中、今後団員を確保していくためには、女性や若者など、**多様な人材の確保が必要**
- ・多様な人材の確保には消防団への理解が不可欠だが、そもそも**女性や若者は消防団を知らない**のではないかと
- ・消防団を知らない人たちに、まずは**消防団を知ってもらい、加入促進につなげていく必要がある**
- ➔今年度の研究テーマを「**消防団の認知度向上のための広報**」とする。
- ➔調査研究WGを設置し、**消防団の認知度や入団意向についての調査を行い、広報ターゲット等の検討を行う**

WGの概要

- n 活動目的：府民への消防団の認知度や入団意向に関する調査・分析等を行う
- n メンバー：WG長:寺浦補佐 WG員:目久保氏(消防協会事務局長)、藤川、岡山、井手、岸之上
- n 活動内容：府民への**防災意識、消防団の認知度、入団意向**に関するアンケート調査及び分析等

活動結果

- n 府民へのアンケート調査、分析
- ・消防団の認知度は約6割であり、**女性は男性よりは認知度が低く、若年層は中高年より認知度が低い**
- ・日頃から**防災情報を取得している人、ボランティア等に参加している人はそうでない人より認知度が高い**
- ・消防団への入団意向は4.7%であり、**消防団を認知している人はそうでない人より入団意向が高い**

n WGの検討結果、研究会への提案

- ・調査、分析結果を受け、今後、以下の①及び②の広報活動について検討していく
- ①女性及び若年層に対して、防災情報の取得を促す広報手法を検討し、認知度向上、入団意向の向上を目指す
- ②府民が手軽に活用できる広報グッズについても並行して検討する
- ➔10月以降、**広報戦略WGを設置し、女性や若者等を対象に具体的な広報手法を検討していくこととなった**。また、検討には現役の**女性団員、若手団員の参画が不可欠**であるため、WGメンバーになっていただくこととなった。

10月～ 広報戦略WG

WGの概要

- n 活動内容(研究会からの指示事項)
 - ・女性や若年層に防災情報の取得を促す広報手法の検討
 - ・府民が手軽に活用することができる広報グッズの検討
 - n メンバー
 - WG長 寺浦グループ長
 - WG員 豊中市消防団 松田氏(現役の学生消防団員)
 - 大東市消防団 野上氏(現役の女性消防団員)
- 研究会からの推薦により参画
- 大阪府消防協会 目久保氏
消防指導グループ 藤川、岡山、井手、岸之上

活動状況(中間報告)

n 女性や若年層に防災情報の取得を促す広報手法

- <主な意見>
- ・府が制作している**VR動画**はこれまでになく斬新なもので、救命処置など一般府民の防災情報の取得にもなる
- ・この動画の視聴に繋げることができるような**広報手法**を検討したい
- ・主なターゲットである女性や若手以外にも、例えば救命講習の受講者や防災イベント参加者など、防災意識の高い人にも**VR動画**を見てもらい、防災情報の取得を促していきたい

<WGの検討結果>

- ・**ショート動画及びリーフレットの制作を行う**
- ・**VR動画へ誘導→防災情報の取得→消防団の認知度向上**

○ショート動画を選定した主な理由

- ・女性、若者が普段から触れている身近な媒体であり、**気軽に視聴可能**
- ・概要欄等にリンクを貼ることで、**VR動画へ誘導**することが可能
- ・SNSの他にも、講習会やイベント等で上映するなど、**活用の幅が広い**

○リーフレットを選定した主な理由

- ・救命講習や防災イベント等、**防災意識の高い人を狙った広報**が可能
- ・公共施設や大学、専門学校など、**幅広い施設に配架可能**

n 府民が手軽に活用することができる広報グッズ

- <主な意見>
- ・性別年齢等に左右されないグッズにするべき(全府民をターゲットにする)
- ・日常で使用するもの、かさばらないものとする(多くの府民に受け入れられる)

<WGの検討結果>

- ・**オリジナル絆創膏**を制作 (理由)・年齢、性別が不問で誰もが喜ぶグッズ
- ・取扱いが豊富で単価が安いため、多くの府民に配布することができる
- ・デザインの自由度が高く、イラストや文字を入れることも可能

n 今後の予定：令和5年1月より、ショート動画、リーフレット、絆創膏の制作を開始する

n その他

- ・認知度を向上させ加入促進しても、**団の雰囲気や団員の士気**が下がってしまうと退団してしまう懸念がある。
- ・継続的に団員を確保し消防団を充実強化するためには、認知度向上に合わせ、**団の内側を強化する必要がある**。
- ➔よって、次年度は将来の団の担い手である**若手(女性を含む)団員を強化・活性化**する取り組みを行いたい。

R5年度のWGについて(案)

若手(女性)活性化WGの設置

n 設置の必要性

- ・持続的な消防団の運営には若手消防団員の確保及び活性化が望ましいが、大阪府では全国と比較して若手消防団員が少なく、研修等の士気向上、活性化を図る機会が少ない。
- ※活動(例):若手(女性)団員による防災教育の推進など
- ➔上記も踏まえ、R5年度の研究会においてテーマ設定の参考としていただきたい。

